

挑戦を 止めるな。

ロジスティード東日本株式会社
RECRUIT GUIDE



挑戦を止めるな。

物流の最先端をゆく、ロジスティード。
 その現場を支える仕事は、挑戦の連続だ。
 自らの役割を果たし、次の仲間にバトンをつなぐ。
 何一つ無駄な仕事なんかない。
 一人ひとりの成長が会社を強くする。
 この国の物流を強くする。
 喜びも、希望も、動き続ける中にある。
 さあ、今日もまた、新しい一日をはじめよう。

JOB & MEMBER

ロジスティード東日本では、
 物流の最前線から本社スタッフまで、
 様々な現場に活躍の機会があります。

CENTER
 物流センター運営管理

倉庫管理 配車管理
 換機業務
 情報通信機器セッティング業務

ENGINEER
 エンジニア

重量物輸送計画設計
 包装資材設計業務
 機工業務

SALES PLANNING
 営業企画管理

営業 企画・IT
 本社管理



変化する状況を見極め、指示を出す。

倉庫管理

中谷 健 / 2018年入社

小学4年生から大学を卒業するまで、バスケットボールに全力で打ち込みました。就職活動では経済の中核を担う物流業界に魅力を感じ、その中でも3PL事業の先駆者として業界をリードしてきた当社に惹かれました。入社して感じるのは、物流の仕事はチームスポーツと似ているということ。常に変化する状況を見極めながら、周囲のメンバーと密にコミュニケーションを取っていく必要があります。

とくに、私が担当している倉庫管理は、そうした関わりを最も求められる仕事です。現在は物流センター内のECグループに所属し、大手スポーツメーカーがECサイトで販売している商品の入庫・在庫管理から保管業務、品質管理、出荷手配まで、様々な倉庫業務の責任者を担っています。当社では1年目の配属直後から正社員として、パートナー社員や派遣社員をマネジメントする立場を任されるため、最初の頃はプレッシャーもありましたが、自分の発言や行動一つでメンバーのモチベーションを高めることができたり、業務の品質を上

げることができる仕事は大きなやりがいもあります。また、この仕事を担当するようになって、たとえば一足のスニーカーがお客様の手元に届くまでにたくさんの工程を経ていることを知り、改めて物流の仕事の大切さも実感しました。

さらに、ここ数年は私たちECグループが取り扱う物量も大幅に増加。時期や時間帯によっても、その量に大きな変化が起こるため、その瞬間ごとに絶えず何手か先を読みながら、メンバーへの指示や業務の段取りを組んでいかなければなりません。適応力や判断力も求められる仕事。入社前は正直、運ぶだけの仕事かなと思っていた節もありましたが、物流の仕事の奥深さに面白さを感じています。

とはいえ、入社7年目の私はまだまだ改善する部分も多く、先輩たちの仕事ぶりには及びません。あらゆる面で経験を一つずつ積み重ね、「この人についていきたい」と思われるような社員になることができればと考えています。



利益も左右する、物流の司令塔。

配車管理

高橋 芳明 / 2009年入社

営業やお客様からの直接の依頼を受け、どの荷物をどのトラックでどう運ぶかといった計画の立案や実際の手配を行うのが、配車管理の仕事です。毎日、電話やメールで様々な配送依頼を受ける中、お客様とも交渉しながら、効率の良い積み荷の組み合わせや配送や荷受けのスケジュールを考える必要があります。物流会社の利益は配車管理の腕前に左右されると言っても過言ではありません。配車の状況はすべて表で可視化されているため、難易度の高いオーダーが集中するような時期に、無駄なく、無理なく、その表を完全に埋めることができた時は難しいパズルを解き終えたような達成感がありますね。

また、基本的にデスクワークではあるのですが、お客様やドライバーと常にコミュニケーションが求められる仕事。とくに、ドライバーに気持ちよく動いてもらうためには、仕事の話だけでなく、たわいもない雑談なども交え、日頃から良好な関係をつくっておく必要があります。荷物を依頼する人も、運ぶ人も、みんな心を持っている人間。その心を思いはかりながら、交渉に応じてもらえたり、動いてもらえたりした時は楽しいですね。



街や現場を最も知るプロとして。

操縦業務

大武 拓海 / 2017年入社

当社ほどの規模になれば、ドライバーと一口に言っても、運ぶ荷物も、運ぶトラックの種類も様々です。現在、私が主に担当しているのは、デスクや棚といったオフィス機器のリサイクル品を3トントラックで配送する仕事。前日や当日の早朝に物流センターで荷物を積み込み、現場でアルバイトスタッフなどに指示を出しながら自らも荷下ろしと設置を手伝った上で、引き取る荷物があればトラックに積んで帰ります。

この仕事の面白さは、その日の仕事の進め方を任せるところ。街の状況も刻々と変化する中、どの道を通って運ぶかといったルート選択や、到着後のお客様からの追加要望などに対して、自分自身で判断し、決めることができます。ドライバーは当社の中で最も現場を知っている存在。現場の状況やお客様の反応、街の様子などを会社にフィードバックする役割も求められていると思います。今後の目標は、さらに運転技術を磨き、今以上に信頼されるドライバーになること。当社には女性ドライバーでも大型の10トントラックを運転している先輩もいるため、いずれは自分も挑戦してみたいと思っています。





数百トン、数十メートルを運ぶことも。

重量物輸送計画設計 永添 翔子 / 2019年入社

やりたいことがなかった私。それでも、せっかくなら学んできたことを活かせる仕事があったと、就職活動では理系の職種を中心に幅広く見ていました。そこで出会ったのが物流業界です。CADを使う業務や理系の知識が求められる仕事があると知り、面白そうだなと思ったのがきっかけでした。

現在は、数百トンや数十メートルにも及ぶ重量物を安全に運ぶための、輸送計画設計を担当しています。たとえば、プラント設備を運ぶ際には、厳密な取り扱い条件があるだけでなく、大きさによってはタイヤが96個もある巨大なトレーラーで運ぶことも。お客様の要望をもとに納入先の現地調査を実施し、安全に曲がれるか、道路がその重量に耐えられるかなどを確認しながら最適なルートと輸送方法を検討、当日の現場監督まで担当します。

入念な計画が求められる仕事ですが、計画通りに必ず進むとは限りません。2年目の終盤に携わったインフラ設備の輸送では、海上輸

送されてきたものを輸送する予定だったのですが、悪天候で船が大幅に遅延。この日のために数ヶ月かけて調整してきたクレーンやトレーラー、作業員の方々のスケジュールを急ぎ再調整しなければならなくなりました。関係者全員で力を合わせてなんとか完遂しましたが、コミュニケーション能力の大切さを改めて思い知らされると同時に、一人ではできないスケールの大きな仕事だと実感しました。

6年目になって感じるのは、“現場経験こそがものを言う”ということ。運ぶものも、お客様からの要望も、そのときの状況や天候も違うからこそ、たくさん経験を積んで対応力を磨いていくことが大切です。加えて、先日「二級土木施工管理士」の資格を取得しました。現場経験を積みながら、資格取得にも挑戦させてもらえるのはありがたいですね。自分の挑戦が、会社への貢献にもなるし、自分の自信にもなる。今後も、前のめりに挑戦しながら成長していきたいです。

当たり前の日々を運び、つくる。

機工業務

ゲルセラ・ブライアン・アドン / 2021年入社

電気やガスを供給するには、そのための設備が欠かせません。そんなインフラ設備の輸送・搬入・組み立てにおいて、全体の指揮をとるのが私の役割です。作業計画を立てる上で大切にしていることは、実際の作業を担う作業員の方とよく意見を話し合うこと。どんな作業手順が適切か、安全に作業するためにはどうすべきかなど、作業員目線を大切にすることが、作業のしやすさや効率化に直結するからです。また、どれだけ綿密な計画でもアクシデントは起こりうるもの。だからこそ、あらゆる視点からリスクを話し合い、対策しておくことも重要です。

フィリピンで生まれた私が日本に来たのは7歳の頃でした。東日本大震災のときにはなかなか物資が届かず、食料を得るのに大変な思いをしたのを覚えています。そこで実感したのが、物流の大切さです。そんな原体験があるからこそ、現在、物流会社でインフラ設備に携わっていることに大きなやりがいを感じています。今後はさらに経験を重ね、海外と日本をつなぐようなプロジェクトにも挑戦していきたい。手を挙げれば任せてもらえる環境がモチベーションになっています。



1mmに挑み続けた先に。

包装資材設計業務

鈴木 隼 / 2019年入社

お客様の大切な製品を守るために欠かせない“包装資材”をつくる。それが私のミッションです。現在は主に洗濯機担当として包装資材設計に携わっています。最大の難所は、設計した包装資材の強度を確かめる試験。実際に落下させたり振動を加えたりしながら、お客様が定める基準を満たすまで調整を繰り返すのですが、どこかを1mmでも変えると別の障壁が現れるため、簡単にはいきません。でも、だからこそ試行錯誤の末に最適な設計が見つかったと、大きな達成感がありますね。

そんな私が新たに挑戦しているのは、環境負荷を減らすための改善活動です。たとえば、発泡スチロールの削減や他資材への代替などが挙げられますが、当然、完成した設計を少しでも変えれば、また一から試験を行わなければなりません。それでも挑み続けるのは、たとえ1mmの削減であっても、何万台と出荷される製品となれば、大きな成果になるはずだから。現状に満足せず、「もっと良くできないか」を考え続ける。その先にこそ、自分の成長はあるのだと思っています。



チームで動く、解決する。

営業 金井 直 / 2020年入社

陸上と毎日向き合ってきた学生時代。しかし、大学3年生のときに怪我をしてしまい、アスリートの道はあきらめ、就職活動を始めることになりました。そこで軸にしたのが、チームで働くこと。陸上部でリーダーを務めていたこともあり、これまでの経験を活かせる仕事に就きたいと思ったのです。社会を支える物流の使命に加え、社内外の人と協力しながらチームで進める点にも魅力を感じ、この仕事で新しい一歩を踏み出そうと決意しました。

現在は営業としてお客様にヒアリングを行い、最適な物流システムをご提案。さらに、その立ち上げ業務やアフターサービスまで、様々な人と関わりながらプロジェクトを進めています。この仕事の最大の面白さは、「ソリューション提案」であること。お客様の状況や困りごとによって提案内容が異なるため、決まった正解はないのです。入社当初は苦戦しましたが、当社では営業も基本的にチームで動くため、一人で抱え込むことはありません。先輩のやり方を間近で見ながら、一つひとつ学んでいくことができました。

メインで担当する案件も出てきた2年目の頃。医薬品メーカーのお客様から「急ぎである製品の物流システムを構築したい」というご相談をいただきました。ただ、医薬品は倉庫内での品質管理や検査内容が厳しく、作業計画の作成や人員配置はもちろん、作業者へのインプットも慎重に行う必要があります。大変な案件でしたが、お客様と物流現場の橋渡し役として双方と密にコミュニケーションをとりながら、通常半年かかる立ち上げ業務を3ヶ月で達成。お客様から「金井さんがいてくれて本当に助かりました」とお電話をいただいたときの喜びは今でも忘れられません。

今後の目標は、お客様にとってより良い物流システムを提案できるようにすること。そのためには、もっと現場に足を運び、現場の皆さんとの結束を高めていきたい。そうして養う“現場目線”こそが、提案力の強化につながっていくと信じています。これからも多くの人と関わりながら、営業としての腕を磨いていきたいです。



レイアウトから運用まで、すべて考える。

企画・IT

阿部 空良 / 2020年入社

企画部の中でも、私が所属する事業企画は物流センターや顧客の倉庫の改善、新設などを行うチーム。たとえば、機械部品メーカーが新しい倉庫を立ち上げる場合、何も決まっていない状況から、どの部品をどこにどのような状態で保管し、倉庫内のどのルートを通して、どう出荷するかといったレイアウトや運用方法まで考えます。さらに、古い倉庫から新しい倉庫へと荷物を移す際は、その移管計画を立てるのも、私たちの仕事です。

お客様や当社営業と打ち合わせを行い、改善の現場となる倉庫を自ら確認することも。そして、それぞれの部品の個数や重量、管理温度、出庫頻度などのデータを分析し、自動化設備の導入有無なども検討しながら、レイアウトや運用方法を組み立てていきます。打ち合わせでも、提案でも、求められるのは根拠となる数字。常にデータや数字を意識して働くクセがつかまりました。また、知識や経験が大切な仕事なのですが、若手の私の意見も採用してくれる風土があります。今後は、より規模の大きな提案や、物流業界でも最先端をゆく当社だからできる提案にも挑戦してみたいですね。



一人ひとりに寄り添っていく。

本社管理

田中 日奈子 / 2021年入社

従業員の皆さんが安心してイキイキと働けるように。勤怠管理や給与計算に加え、皆さんからの質問や相談に対応することが私の仕事です。相談内容は、入退社に関するものから育休・産休など様々。しかも、従業員ごとに状況が異なるため、同じ内容の相談であっても回答が同じになるとは限りません。そこで私は、多くの情報の中からその人にとって重要なポイントを抜き出してわかりやすく伝えるとともに、「あなたの場合はこうしたらいいですよ」と添えるように心がけています。その結果、悩みや不安が解消され、「ありがとう」と言ってもらえるとやりがいを感じますね。

一つひとつ心を込めて対応する背景にあるのは、「現場第一」という意識です。現場なくして会社は成り立たないからこそ、常に現場に寄り添い、些細なことも相談しやすい関係づくりを大切にしています。昨年、グループの4社が統合し、管理する拠点数も一気に拡大しましたが、その意識に変わりはありません。今の会社に何が必要か、広い視野でさらなる働きやすさを追求していきたい。私の挑戦は始まったばかりです。





WORK LIFE

福利厚生

当社では、社員の皆さんが健康かつ安心して働けるよう、環境整備に力を入れています。住宅手当や短時間勤務などを活用することで、ライフプランが変わっても長く働き続けられるだけでなく、自己啓発など皆さんの人生をさらに豊かにする福利厚生も用意しています。

POINT 01

初年度から24日の有給が付与される!

POINT 02

3年間の育児休暇が取得可能!

POINT 03

育児や看護介護、リフレッシュに使える充実した休暇制度

法定期間よりも2年多い!

リフレッシュ休暇

慶弔休暇

ファミリーサポート休暇

CAREER

教育研修制度

社会人としての基本や、会社や業界の基礎を習得するための入社時研修はもちろん、年次が上がっても研修や資格取得支援などを通して、継続的にキャリア形成をサポートしています。また、業務の専門性を高めるための研修も用意。多彩なカリキュラムで、学びながら成長していくことができます。

新入社員育成カリキュラム

<p>約1週間 入社時研修</p>	<p>約3ヶ月間 現場実習</p>	<p>7月～ 本配属</p>	<p>配属後～ 5年目まで</p>	<p>6年目以降</p>
<p>社会人としての基本と、当社で働く上での基礎知識を習得します。</p>	<p>物流倉庫内での現場作業を通じて、物流業界の現状を知り、サプライチェーンの全体像を把握する素地を養います。</p>	<p>本人の希望と適性を考慮し、配属となります。</p>	<p>定期的な集合研修などでキャリア形成をサポートします。</p>	<p>各専門分野の研修・自己啓発を中心に教育します。</p>

PICK UP



新入社員フォローアップ研修

入社から1年間の自分を振り返り、2年目に向けて意識・知識の底上げを行います。



安全基礎体感研修

VRを用いて安全活動に必要な基礎知識を取得し、安全文化の定着を図ります。



講座受講・資格取得支援

TOEICや専門的な資格など、キャリアアップのための様々な挑戦を支援しています。

- TOEIC IPテスト 受験料補助
- 通信教育講座 受講料補助
- 社外公開講座
- 各種資格取得支援

PICK UP

	<p>住宅手当</p> <p>配属時・異動時に転居が必要な場合、家賃の80%を会社が負担します。(諸条件あり)</p>		<p>育児・介護短時間勤務制度</p> <p>勤務時間を4時間～7時間30分で選択できる制度です。個人の状況に合わせて設定できるため、ワークライフバランスの実現や、育児と仕事の両立につながります。</p>
	<p>講座受講・資格取得支援</p> <p>社員一人ひとりの主体的なキャリア形成を支援するために、160の通信講座を用意。自分の興味関心に合わせて、自由に講座を選択し受講することができます。</p>		<p>保養所</p> <p>伊豆高原には、ゆったりくつろげる客室と温泉、娯楽施設を完備した保養所を用意。家族旅行やグループ旅行などで利用可能です。</p>
	<p>保険制度</p> <p>医療保険や自動車保険など、ロジスティードグループの団体保険に加入可能です。</p>		



INFORMATION

会社情報をチェックしよう!

ロジスティード東日本

